



## 議題1

報道機関 各位

## 記者発表資料

平成29年5月2日（火）

問い合わせ先：産業展開推進課

担当：澁谷・松本

電話：829-1371

内線：4774

## さいたま医療ものづくり都市構想 第2期行動計画を策定しました

さいたま市では、研究開発型ものづくり企業の医療機器関連分野（※1）への新規参入・事業拡大を支援するため、平成24年度より「さいたま医療ものづくり都市構想（以下、「構想」という。）」を推進しています。

平成29年3月に、構想の後半5年間（平成29年度～33年度）の具体的な取組を示す「第2期行動計画」を策定しました。今後は、この計画に基づき、さいたま発の医療機器を創出し、臨床現場や地域に届けます。

## 1 構想の概要

## (1) 目的

研究開発型ものづくり企業の医療機器関連分野（※1）への新規参入・事業拡大を支援することで本市経済の新たな成長エンジンを形成するとともに、臨床現場に技術面から貢献することで地域社会のQOLを向上する。

## (2) 期間

平成24年度～33年度の10年間

・第1期行動計画（平成24年度～28年度）

・第2期行動計画（平成29年度～33年度）

## (3) 重点分野

①レーザー・フォトンクス技術応用医療分野

②低侵襲（※2）・低リスク技術分野

③周産期・小児医療分野、予防医療分野

## (4) 4つの基本施策

①医療ものづくりコミュニティの形成

②事業機会創出機能の整備

③開発・商品化支援機能の整備

④支援拠点の整備

※1 構想では、医療機器のみならず健康・福祉・介護・美容・ヘルスケアなどの周辺分野や、臨床現場で使う治療・診断以外の機械器具を含めて「医療機器関連分野」という。

※2 手術、検査に伴う痛み・発熱・出血などをできるだけ少なくする医療のこと。

## 2 第2期行動計画の概要

### (1) 第2期の位置づけ

第1期行動計画に基づいて構築した支援基盤を発展させ、より高度な医療機器開発や、臨床現場の課題解決に取り組む。

### (2) 重点的な取組

#### ① (仮称) さいたま医工連携アドバイザーリーボードの構築

高度な専門知識を有するアドバイザーが、商品化までを見据えた支援を行う。

#### ② 医療機関との連携強化

臨床現場からの支援体制と、技術面から臨床現場へ貢献する仕組みを構築する。

#### ③ 医工連携拠点の機能強化

地域医工連携の中核として、ニーズとシーズが集積しイノベーションが創出される取組を推進する。